

芝浦工業大学工学マネジメント研究科客員教授
谷口博昭

3・11から7年が経過、風化が懸念されます。完成とその活用を期待し、エールを送りました。

三陸沿岸都市会議は、7市（八戸市、久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市）の持続的発展に必要な不可欠なリアス・ハイ

復興道路「三陸沿岸道路」は、東北地方整備局が中心となり、他地方整備局職員及び民間の支援を受け復興・創生期間内完成目途に鋭意事業が

沿岸7市の市民レベルのた。沿岸7市の市民レベルの号の清掃やまちづくりを考え

共に関東人の粘り強い行動力に打たれます。平成8年8月には、三陸縦貫道路早期完成の悲願を訴えるため、沿線2市5町と連携、気仙沼から仙

復興道路「三陸沿岸道路」は、東北地方整備局が中心となり、他地方整備局職員及び民間の支援を受け復興・創生期間内完成目途に鋭意事業が

共に関東人の粘り強い行動力に打たれます。平成8年8月には、三陸縦貫道路早期完成の悲願を訴えるため、沿線2市5町と連携、気仙沼から仙

桜プロジェクト”活動を新展開、その維持管理等のためクラウドファンディングを4月13日まで募集しています。ご支援を戴ければ幸いです（検

索は「復興桜2万本」で）。

ス様な草の根的活動を支援、時空間を越えた絆、連携を強化し、ハードからソフトへ、安全で良好な住生活環境となり、復興・創生されんことを祈念したい。

復興続く3・11から7年の東北

ウエイの早期実現大会を昭和58年から持ち回りで開催、3

11以降も継続されています。昨年10月久慈市での35回記念大会に出席、「命の道」であるリアス・ハイウェイの早期

推進されています。気仙沼人力車木遣会は、32

年に亘りさまざまな式典に人力車や木遣りを披露するなど

の地道な活動を継続、先述の

久慈市大会にも参加されまし

台の東北地方建設局（現整備局）までの150キロを人力車で5日間駆け抜けるという粋な行動力も想起されます。NPOハッピーロードネットも、高校生を主体に国道6